



学校だより



令和7年11月29日
江戸川区立新田小学校
第8号

思いやりの心

校長 鈴木 剛司

11月のふれあい月間が終わりました。学校だより11月号でお伝えしたように、子供たちには「いじめが絶対にいけない」こと、そして「言葉を大切にしていってほしい」ことも続けて話してきました。その1つの取組として、2学期の校長室における詩の暗唱は、「ひとつのことば」で行いました。（今年度は学期ごとに詩の暗唱を行い、合格者には賞状を渡しています。1学期は金子みすゞの「私と小鳥と鈴と」の詩を題材にしました。1学期は89人の子供が合格しました。）2学期はここまで73人の子供が詩を覚えて合格しています。子供たちには詩を覚えるだけでなく、この詩が何を伝えているかをしっかり考えてほしいと話しています。ぜひ、ご家庭でも一緒に詩の暗唱を行うとともに、ひとつのことばが人を傷つけることもあるし、人に勇気を与えることもできること、相手を思いやる心が大切だということを伝えていただけたら幸いです。

ひとつのことばを	ひとつのことばを	やさしいことばは	きれいなことばは	ひとつのことばを	ひとつのことばを	ひとつのことばで	ひとつのことばで	ひとつのことばで	ひとつのことばで	ひとつのことばで	ひとつのことばで	ひとつのことば
美しく	大切に	やさしい心	きれいな心	持っている	それぞれに	泣かされる	楽しく笑い	心が痛む	頭が下がり	なかなかおり	けんかして	北原 白秋

3年生の廊下には、「思いやりの木」が育っています。嬉しい言葉を葉っぱに書き、増やしていっています。みんなの心にも「思いやりの木」を育てていきたいです。

相手を思いやる心といえば、今回、4年生の総合学習では、「服のカプロジェクト」として子供たちが主体となり、世界の難民の子供たちに服を届ける学習を行いました。子供たちが、次々と服を集めるための案を出し、積極的に行動する姿はとても頼もしいものでした。また、ご家庭や地域のご協力もたくさんあり、想像以上の1870点という服を集めることができました。4年生やご家庭、地域の思いやりの心がたくさん集まった結果だと思います。本当にありがとうございました。

【音楽会を終えて】

インフルエンザの流行により、予定通りの実施が心配された音楽会を無事に行うことができました。インフルエンザ等で欠席が多い中、そして以前のように練習時間が取れない中（授業時数の適正化により決められた時間を守っての練習となっています。）、子供たちは自分たちのめあてをもち、それに向かって頑張ることができました。リハーサル、児童鑑賞日と緊張感が高まる中で、どんどん成長していく姿に子供たちのすごさを実感することができました。

保護者、地域の皆様に、子供たちが音楽を楽しんでいる姿、みんなの心が一つになっている姿を見ていただくことができたなら幸いです。音楽会当日を迎えるまで、励ましの言葉、体調管理等、ご家庭での支援が大きな支えとなりました。たくさんのご参観と暖かい拍手を含め、感謝申し上げます。ありがとうございました。

江戸川区立新田小学校 HP: <http://edogawa.schoolweb.ne.jp/1310034>